



交通基盤部河川砂防局 土木防災課

入庁年 ▶ 令和5年度

藤武 凌也

採用
3年目

最初に、自己紹介をお願いします。

静岡生まれ静岡育ちです。高校まで富士市で過ごし、野球漬けの毎日を送っていました。大学は県外に出たことをきっかけに、新しいことに挑戦したいと思い、スノーボード部に所属していました。社会人でも、体を動かすことが好きなので、職場のスポーツ大会には積極的に参加しています。

現在、担当している仕事について教えてください。

土木防災課の防災班に所属しており、災害を防ぐためのソフト対策に主に取り組んでいます。県民のみなさんに、水位や雨量、気象情報等の避難に資する情報を「サイボスレーダー」で提供するために、河川監視カメラの設置や観測機器の維持管理を行っています。

静岡県職員（土木）を目指したきっかけは？

大学時代に、将来は大好きな静岡県に戻り、県民のみなさんが安心・安全に暮らせるまちづくりをしたいと思ったことがきっかけです。現在は河川分野に所属していますが、これから様々な分野を経験し、視野を広げていきたいです。

入庁する前に不安だったことはありますか？

入庁するまで具体的に何の仕事を行うかわからなかったことです。実際に、土木防災課に所属と言われても、どんな仕事をするか想像できず不安でした。しかし、入庁した際には先輩方が優しく教えてくださり、徐々に仕事を覚えることが出来ました。

これまで仕事をしてきた中で、嬉しかったことは？

小学生を対象に開催している県庁見学です。水災害の危険性や職員の仕事を紹介しています。災害の写真を見て、声を出して驚いている様子や、一生懸命話を聞いている姿を見ると説明しているのが嬉しいです。最近では、人生で初めてサインを求められました！

県庁見学に訪れた小学生に向けて、丁寧に説明する藤武技師



これまで仕事をしてきた中で、印象に残っていることは？

近年、激甚化している水災害を県民のみなさんに自分事として捉えてもらうため、防災教育教材「しぞ〜か防災かるた（豪雨の備え編）」を制作しています。かるたの句は、県民のみなさんから募集しており、高校生や大学生と共に、句づくりワークショップを行ったことが印象的です。

未来の後輩に向けて、ひとことお願いします。

土木職員は、大学で土木を学んでいない方も多くいます。私は、大学で土木を学んでいますが、毎日勉強しながら業務を行っています。研修制度も充実しており、誰でも土木職員を目指せることがいいところです。静岡県の土木職は、元気な方が多く楽しく業務に取り組んでいます。

仕事以外に熱中していることはありますか？

社会人になってから月に1回は旅行に行っています。7月は、沖縄県に行き、人生初のダイビングやパラセーリングを体験しました。9月は四国をめぐる旅でした。特に、香川県でうどん、高知県ではかつおのたたきを食べ、とても美味しく、味を忘れられません。来年は、北海道に行きたいと思っています。

同僚の方へ質問
藤武さんってどんな人ですか？

明るい人柄でムードメーカー、課の皆から愛されています。細かい様々な業務をマルチにこなす縁の下の力持ちとして、時には重要案件を担当する主力として、採用3年目にして土木防災課を支える、欠かせない一員です。

沖縄県で人生初のパラセーリングを満喫



藤原主任